

## 【指定就労継続支援A型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	NPO法人明星会 くいーる作業所		代表者指名	理事長 渋川 直子
事業所所在地	青森市青柳2丁目2-5			
連絡先	電話番号	017-721-6122	FAX番号	017-721-6123

1 現在、基準条例第181条第2項を満たすことができていない理由と具体的改善策  
(詳細かつ具体的に記載すること)

(未達成理由) 未だにコロナウイルスの影響があり、外部への作業も積極的に参加することが出来ず、青森市で感染者が多発した場合、委託先からも一時的に作業の見合わせ等の打診があり、参加機会の減少や外部営業活動も思うようにできない状態が続いた。また昨年度まで交渉を行っていた取引先自体業績が思わしくないせいか、交渉していた事業の中止もあり当初の予定通りの活動が出来なかったのが現状である。新たな活動が出来ないことや、現状の取引量の減少、突然の計画中止等様々な要因があり生産売上を確保することが難しい状態であった。前期計画がそのまま実行された場合、予定収益として先方から打診のあった金額だけで目標を達成することが可能であったが、中止になったことで、現在取扱している作業量の減少をいかに抑えるか試行錯誤することで精一杯であった。自社で製造する商品や販売するものがあれば、コロナ禍に対応した新商品の開発等、世の中の流れに沿った経済活動も出来たと思われるが、突然の計画中止に対応する資金や新たな事業経費を準備できなかった。	(具体的改善策)ほとんどの作業を外部委託に頼っており、取引先の業績が当事業所の売上に大きく影響を与えることを考慮し、事業所で生産を行うことでの売上減少リスク回避または、リスクの分散を行う必要があると思われる。そこで比較的簡単に栽培できる作物と許可の必要のない農産物の加工を検討した結果にんにく栽培及び黒にんにくの加工を行い収益の改善を目指すこととした。また、コロナ関連に伴い市場調査を行った結果、除菌関連、消毒関連に需要があることがわかり、ライセンスを取得、代理店契約を行い、光触媒コーティングの取扱い開始した所である。現状で行っている作業もコロナ関連の機械の受注が増えたことにより電子部品の作業量も増加してきているので、利用者のスキルアップを図り売上増加に努める予定である。また昨年度収益が減少する中除雪作業の収益が大幅に増加したことから、今後は取引先を増やし、収益改善を行いたいと思う。除雪について7月の時点で昨年度と同じ取引先、時期冬季の取引予定が追加で1社、駐車場の除雪打診1社合計3社の受注を計画している。
---	--

## 2 現在の事業内容及び計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
漁具加工・外部委託作業・加工品販売・農産物販売・封入作業	前期より行っている漁具の加工は、コロナ禍であるが作業受注量はやや回復傾向であるので作業を継続し今期も実施予定である。コロナ関連で需要が増えている電子部品の加工は増加傾向にあるので、利用者のスキルアップ、能力向上を目指し作業量の増加を目標とする。既にライセンスを取得した光触媒コーティング施工は営業活動を行い売り上げを伸ばしていく計画である。農産物の生産加工は準備が整い次第実施する予定であるが、今期は畑作りのみ行い来期に備える計画である。冬季の除雪は昨年度実績から1社あたり月25万～30万程度の売り上げを予想しており、全社契約に至った場合、シーズンの収益は約4か月で合計300～360万を予想している。また除雪に関し職員及び利用者の資格取得を検討し大規模現場への対応も可能とする体制を整えたいと考えている。万が一、降雪量が少ない場合は、冬季の大幅な減収が考えられるが、その分の人員を冬季の農産物加工「黒にんにく」に配置をし直し自社商品の生産を増加させ収益改善を図る計画である。

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性(どのような資格、経験等を持った者が担当するか等)について詳細に記載すること